



## 金森氏第6代頼峯、第7代頼錦の菩提寺

<http://digitalarchiveproject.jp/information/金森氏第6代頼峯、第7代頼錦の菩提寺>



### 臨済宗妙心寺派 鍾山 慈恩護国禪寺

当寺は戦国時代末期、八幡城主遠藤但馬守慶隆公深く禅門に帰依され、京都花園妙心寺に定慧円明国師(南化玄興禅師)を訪ね、その弟半山紹碩禅師を当地に迎えて教えをこわれ、慶長11年(1606)国泰民安を祈願して建立、半山禅師を創建開山と仰がれる御本尊は、釈迦如来である。寺内に但馬守嫡男長門守慶勝公及び生母智勝院殿の塔所を建立し、当寺を長州公の菩提所と定め但馬守の学問所とされる。元和8年(1622)正月20日、山火事類焼の厄に遭い堂宇全焼するも、但馬守江府より工匠を呼び庫裡(12間・18間)再建後寛永8年(1631)8月、前長州公二の丸御殿を移して本堂(9間・12間)を建立される。当山第2世天外和尚、第3世梅山和尚と3代を経て、堂々たる堂塔伽藍並びに境内の整備を成したと伝えられ、元禄13年(1700)高山城主、金森頼峯公、郡上に移封となり以来当山は、金森公の香花所となる。第6世絹因和尚代勅使を以て寺号に「護国」の2字を賜り、文化14年(1817)勅諭大徹正源禅師(棠林和尚)禅堂建立、雲水80有余員参集して、禅風大いに揚がったのであった。因みに当山は隠山系棠林門下一流の発祥地である。嘉永5年(1852)第12世月局和尚経蔵新築され、禅寺の偉容全く堂々たるものとなる。第13世浙炊和尚代、維新の政変、排仏毀釈の法難に遭い、寺内困窮、第15世綱山和尚代、明治26年(1893)8月22日、県下未曾有の豪雨あり、裡山崩壊し本堂始め諸堂宇埋没、僅かに総門及び勅使門を残すのみの惨禍に遭うも、同29年(1896)本堂裡再建、第17世英山和尚、昭和50年(1975)宝蔵庫建立される。名勝天然記念物「葦草園」は、創建半山禅師の作庭にして、明治被災以前は、広々と本堂の周辺一帯をめぐり、古城跡東殿山を望む庭中のたたずまいなど、往時の雄大さは偲ぶべくもない。併し、現存の借景に依る池泉回遊式の禅宗庭園としては当地方随一を誇るものである。

説明板より



001.①郡上市・慈恩寺外観000



002.①郡上市・慈恩寺外観001



003.①郡上市・慈恩寺外観002



004.①郡上市・慈恩寺外観003



005.①郡上市・慈恩寺外観004



006.①郡上市・慈恩寺外観005



007.①郡上市・慈恩寺外観006



008.①郡上市・慈恩寺外観007



009.①郡上市・慈恩寺外観008



010.①郡上市・慈恩寺外観009



011.①郡上市・慈恩寺外観010



012.①郡上市・慈恩寺外観011



013.①郡上市・慈恩寺外観012



014.①郡上市・慈恩寺外観013



015.①郡上市・慈恩寺外観014



016.①郡上市・慈恩寺外観015



017.①郡上市・慈恩寺外観016



018.①郡上市・慈恩寺外観017



019.①郡上市・慈恩寺外観018



020.①郡上市・慈恩寺外観019



021.①郡上市・慈恩寺外観020



022.①郡上市・慈恩寺外観021



023.①郡上市・慈恩寺外観022



024.①郡上市・慈恩寺外観023



025.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子000



026.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子001



027.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子002



028.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子003



029.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子004



030.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子005



031.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子006



032.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子007



033.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子008



034.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子009



035.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子010



036.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子011



037.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子012



038.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子013



039.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子014



040.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子015



041.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子016



042.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子017



043.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子018



044.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子019



045.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子020



046.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子021



047.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子022



048.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子023



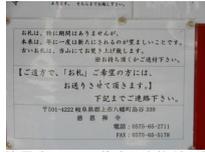
049.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子024



050.②慈恩寺入口の道路、建物前の様子025



051\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子026052\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子027053\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子028054\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子029055\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子030



056\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子031057\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子032058\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子033059\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子034060\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子035



061\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子036062\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子037063\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子038064\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子039065\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子040



066\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子041067\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子042068\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子043069\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子044070\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子045



071\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子046072\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子047073\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子048074\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子049075\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子050



076\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子051077\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子052078\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子053079\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子054080\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子055



081\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子056082\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子057083\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子058084\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子059085\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子060



086\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子061087\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子062088\_②慈恩寺入口の道路、建物前の様子06089\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地0090\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地001



091\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地0092\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地0093\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地0094\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地0095\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地006



096\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地0097\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地0098\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地0099\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地0100\_③初冬の慈恩寺の庭(てっそうえん)、墓地011







201\_④初夏の慈恩寺庭、墓地(金森頼錦の石)



202\_④初夏の慈恩寺庭、墓地(金森頼錦の石)



203\_④初夏の慈恩寺庭、墓地(金森頼錦の石)



204\_④初夏の慈恩寺庭、墓地(金森頼錦の石)



205\_④初夏の慈恩寺庭、墓地(金森頼錦の石碑)



206\_④初夏の慈恩寺庭、墓地(金森頼錦の石)



207\_④初夏の慈恩寺庭、墓地(金森頼錦の石)



208\_④初夏の慈恩寺庭、墓地(金森頼錦の石碑)



209\_⑤慈恩寺・壺庭000



210\_⑤慈恩寺・壺庭001



211\_⑤慈恩寺・壺庭002



212\_⑤慈恩寺・壺庭003



213\_⑤慈恩寺・壺庭004